

セフジトレンピボキシル細粒 10%小児用「日医工」

【この薬は？】

販売名	セフジトレンピボキシル細粒 10%小児用「日医工」 Cefditoren Pivoxil Fine Granules for Pediatric
一般名	セフジトレン ピボキシル Cefditoren Pivoxil
含有量 (1g 中)	セフジトレン ピボキシル 100mg (力価)

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」
<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、経口用セフェム系抗生物質製剤と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、細菌細胞壁の合成を阻害することにより、殺菌作用を示します。
- ・次の病気の人に処方されます。

小児

〈適応症〉

表在性皮膚感染症、深在性皮膚感染症、リンパ管・リンパ節炎、慢性膿皮症、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、肛門周囲膿瘍、咽頭・喉頭炎、扁桃炎（扁桃周囲炎、扁桃周囲膿瘍を含む）、急性気管支炎、肺炎、肺膿瘍、慢性呼吸器病変の二次感染、膀胱炎、腎盂腎炎、中耳炎、副鼻腔炎、歯周組織炎、顎炎、猩紅熱、百日咳

〈適応菌種〉

セフジトレンに感性のブドウ球菌属、レンサ球菌属、肺炎球菌、モラクセラ（ブランハメラ）・カタラーリス、大腸菌、シトロバクター属、クレブシエラ属、エンテロバクター属、セラチア属、プロテウス属、モルガネラ・モルガ

ニー、プロビデンシア属、インフルエンザ菌、百日咳菌、ペプトストレプトコッカス属、バクテロイデス属、プレボテラ属、アクネ菌

成人（嚥下困難等により錠剤の使用が困難な場合）

〈適応症〉

表在性皮膚感染症、深在性皮膚感染症、リンパ管・リンパ節炎、慢性膿皮症、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、乳腺炎、肛門周囲膿瘍、咽頭・喉頭炎、扁桃炎（扁桃周囲炎、扁桃周囲膿瘍を含む）、急性気管支炎、肺炎、肺膿瘍、慢性呼吸器病変の二次感染、膀胱炎、腎盂腎炎、胆嚢炎、胆管炎、バルトリン腺炎、子宮内感染、子宮付属器炎、眼瞼膿瘍、涙嚢炎、麦粒腫、瞼板腺炎、中耳炎、副鼻腔炎、歯周組織炎、歯冠周囲炎、顎炎

〈適応菌種〉

セフジトレンに感性のブドウ球菌属、レンサ球菌属、肺炎球菌、モラクセラ（ブランハメラ）・カタラーリス、大腸菌、シトロバクター属、クレブシエラ属、エンテロバクター属、セラチア属、プロテウス属、モルガネラ・モルガニー、プロビデンシア属、インフルエンザ菌、ペプトストレプトコッカス属、バクテロイデス属、プレボテラ属、アクネ菌

- ・この抗生物質製剤は自己判断で飲むのを止めたり、飲む量を減らしたりしないでください。指示どおりにきちんと飲まないで、治療効果が低下するばかりでなく、原因菌がこの薬の効かない菌に変化したり、他の抗生物質製剤も効かなくなったりする可能性があります。医師の指示どおりに飲むことが大切です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・過去にセフジトレンピボキシル細粒小児用「日医工」に含まれる成分で過敏症のあった人
- ・血清カルニチンが低下する先天性代謝異常がある小児

○次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。

- ・セフェム系又はペニシリン系抗生物質に対し過敏症の既往歴のあった人
- ・気管支喘息、発疹、蕁麻疹等のアレルギー症状を起こしやすい体質をもっている人又は両親、兄弟がいる人
- ・経口摂取の不良な人又は非経口栄養の人、全身状態の悪い人
- ・腎臓に高度の障害のある人
- ・妊婦または妊娠している可能性のある人

○ショック（冷汗が出る、めまい、顔面蒼白（そうはく）、手足が冷たくなる、意識の消失）があらわれることがあるので、過去にアレルギーがあった人や薬で過敏症のあった人は、医師に伝えてください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

通常、飲む量および回数は、次のとおりです。

〔小児（肺炎、中耳炎、副鼻腔炎）の場合〕

一回量	体重 1kg あたり 3mg（力価） 必要に応じて体重 1kg あたり 6mg（力価）まで増量されます。 ただし、最大使用量は 1 回 200mg（力価）です。
飲む回数	1 日 3 回

- ・一日の最大使用量は、1 日 600mg（力価）です。

〔小児（肺炎、中耳炎、副鼻腔炎以外の疾患）の場合〕

一回量	体重 1kg あたり 3mg（力価） ただし、最大使用量は 1 回 200mg（力価）です。
飲む回数	1 日 3 回

- ・一日の最大使用量は、1 日 600mg（力価）です。

〔成人（嚥下困難等により錠剤の使用が困難）の場合〕

一回量	1 回 100mg（力価） 症状などによっては 1 回 200mg（力価）
飲む回数	1 日 3 回

この薬はできるだけ食後に飲んでください。

●どのように飲むか？

コップ 1 杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

決して 2 回分を一度に飲まないでください。

気がついた時に、1 回分を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は 1 回とばして、次の時間に 1 回分飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

異常を感じたら、医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・肝機能障害があらわれることがあるので、定期的に肝機能検査が行われます。
- ・急性腎障害等の重篤な腎障害があらわれることがあるので、定期的に腎機能検査が行われます。
- ・無顆粒球症、溶血性貧血があらわれることがあるので、定期的に検査が行われます。
- ・小児では低カルニチン血症に伴う重篤な低血糖、けいれん、脳症等があらわれることがあるので、けいれんや意識障害等の低血糖症状があらわれた場合は、ただちに受診してください。
- ・妊婦または妊娠している可能性のある人は医師に相談してください。
- ・高齢の人は、出血しやすくなることがあるので、出血があらわれたら、ただちに受診してください。

- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
ショック ショック	冷汗が出る、めまい、顔面蒼白（そうはく）、手足が冷たくなる、意識の消失
アナフィラキシー アナフィラキシー	全身のかゆみ、じんま疹、喉のかゆみ、ふらつき、動悸、息苦しい
偽膜性大腸炎等の血便を伴う重篤な大腸炎 ぎまくせいだいちょうえんなどのけつべんをともなうじゅうとくなだいちょうえん	腹痛、血の混ざったゆるい便が出る、ゆるい便が出る、発熱、頭痛、吐き気、冷汗が出る、顔面蒼白、手足が冷たくなる、お腹が張る、水のような便が出る、便に血が混じる（鮮紅色～暗赤色）、激しい腹痛、下痢、嘔吐
中毒性表皮壊死融解症（TEN） ちゅうどくせいひょうひえしゆうかいしょう（テン）	皮膚が広い範囲で赤くなり、破れやすい水ぶくれが多発、発熱、粘膜のただれ
皮膚粘膜眼症候群（Stevens-Johnson 症候群） ひふねんまくがんしょうこうぐん（スティーブンス-ジョンソンしょうこうぐん）	発熱、目の充血やただれ、唇や口内のただれ、円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発する
多形紅斑 たけいこうはん	円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発する、発熱、関節の痛み、喉の痛み
間質性肺炎 かんしつせいはいえん	咳、息切れ、息苦しい、発熱
PIE 症候群 ピーアイイーしょうこうぐん	発熱、咳、息切れ、息苦しい
肝機能障害 かんきのうしょうがい	疲れやすい、体がだるい、力が入らない、吐き気、食欲不振
急性腎障害等の重篤な腎障害 きゅうせいじんしょうがいとうのじゅうとくなじんしょうがい	尿量が減る、むくみ、体がだるい、高血圧
無顆粒球症 むかりゅうきゅうしょう	突然の高熱、寒気、喉の痛み
溶血性貧血 ようけつせいひんけつ	体がだるい、めまい、息切れ、白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、尿の色が濃くなる

重大な副作用	主な自覚症状
低カルニチン血症に伴う低血糖 ていカルニチンけっしょうにとともにうていけつとう	ちょっとした刺激で機嫌が悪くなる、手足がだらんとしている、哺乳力が弱い、呼吸が止まる、呼吸数が増える、泣き声の異常、手足やあごが細かくふるえる、手足の色が悪い、元気がない、ぐったりする、お腹がすく、冷汗が出る、血の気が引く、疲れやすい、手足のふるえ、けいれん、意識の低下

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	冷汗が出る、発熱、ふらつき、突然の高熱、寒気、体がだるい、疲れやすい、けいれん、ちょっとした刺激で機嫌が悪くなる、元気がない、ぐったりする、むくみ、力が入らない、食欲不振
頭部	めまい、意識の消失、頭痛、意識の低下
顔面	顔面蒼白、血の気が引く
眼	目の充血やただれ、白目が黄色くなる
口や喉	咳、吐き気、嘔吐、喉の痛み、唇や口内のただれ、喉のかゆみ、哺乳力が弱い、泣き声の異常
胸部	息切れ、息苦しい、動悸、呼吸が止まる、呼吸数が増える
腹部	腹痛、お腹が張る、激しい腹痛、お腹がすく
手・足	手足が冷たくなる、関節の痛み、手足のふるえ、手足がだらんとしている、手足やあごが細かくふるえる、手足の色が悪い
皮膚	円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発する、皮膚が広い範囲で赤くなり、破れやすい水ぶくれが多発、粘膜のただれ、全身のかゆみ、じんま疹、皮膚が黄色くなる
便	血の混ざったゆるい便が出る、ゆるい便が出る、水のような便が出る、便に血が混じる（鮮紅色～暗赤色）、下痢
尿	尿の色が濃くなる、尿量が減る
その他	高血圧

【この薬の形は？】

形状	細粒剤
	
色	だいたい色

【この薬に含まれているのは？】

有効成分	セフジトレン ピボキシル
添加剤	白糖、メチルセルロース、クロスカルメロースナトリウム、ポリリン酸ナトリウム、タルク、含水二酸化ケイ素、アスパルテーム（L-フェニルアラニン化合物）、香料、黄色5号

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

販 売 元：日医工株式会社 (<https://www.nichiiko.co.jp>)

くすりの相談窓口の電話番号 TEL（フリーダイヤル）：(0120) 039-215

受付時間：9時～17時30分（土、日、祝祭日その他当社の休業日を除く）

製造販売元：日医工ファーマ株式会社